

インストールするプログラムについて

<ユーティリティプログラム>

Information server +Plus II には、次の 6 種類のユーティリティプログラムがあります。

■ 『Is+Plus2 インフォモニター』

新着文書をユーザーに通知してくれるユーティリティプログラムです。設定によって、新着だけでなく、送信やプリントの結果状況も通知することができます。

『Is+Plus2 インフォモニター』の詳しい使いかたについては、『Information server +Plus2 リファレンスマニュアル』の“新着文書の通知設定をする”を参照してください。

■ 『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』

受信した文書を自動的にダウンロードするユーティリティプログラムです。文書の種類やダウンロードする場所、ファイル形式を指定することができます。また、いつダウンロードするかという時間設定も行うことができます。

いずれかのユーザー個人のみが設定対象となります。

『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』の詳しい使いかたについては、『Information server +Plus2 リファレンスマニュアル』の“自動ダウンロードの設定をする”を参照してください。

■ 『Is+Plus2 バックアップユーティリティ』

受信した文書を自動的にダウンロードするユーティリティプログラムです。文書の種類やダウンロードする場所、ファイル形式を指定することができます。また、いつダウンロードするかという時間設定も行うことができます。

複数のユーザーや機器、各種フォルダー内の文書を設定対象にできます。

■ 『Is+Plus2 カバーページエディター』

ファクスを送信するときに文書の先頭に付ける送付案内書を作成・編集するユーティリティプログラムです。送信する相手先の情報（会社名、所属部署名、名前など）は自動的に挿入されますので、各送信相手ごとに送付案内書を作成する必要がありません。

『Is+Plus2 カバーページエディター』の詳しい使いかたについては、『Information server +Plus2 リファレンスマニュアル』の“送付案内書を作成する”を参照してください。

■ 『Is+Plus2 アドレスブックユーティリティ』

Excel 形式の電話帳を CSV 形式に変換させるユーティリティプログラムです。CSV 形式にデータを変換することにより、Is+Plus II の電話帳にインポートできる“vCard データ”へのデータ変換が可能となります。

■ 『Muratec Is+Plus2 TWAINConnector』

Information server +Plus II のスキャナー機能で取り込んだ画像を画像編集アプリケーションソフトで読み込むためのユーティリティプログラムです。

『Muratec Is+Plus2 TWAINConnector』の詳しい使いかたについては、『Information server +Plus2 リファレンスマニュアル』の“ソフトウェアへの読み込み”を参照してください。

<ドライバー>

Information server +Plus II には、次のようなドライバーソフトがあります。

■ 『Muratec MFX-18/22/27XX』

各種アプリケーションソフトで作成した文書を Information server +Plus II でプリントするときに必要となるドライバーです。

■ 『Muratec MFX-18/22/27XX Fax』

各種アプリケーションソフトで作成した文書を Information server +Plus II で直接ファクス送信するときに必要となるドライバーです。

■ 『Muratec Is+Plus2 TIFFMaker』

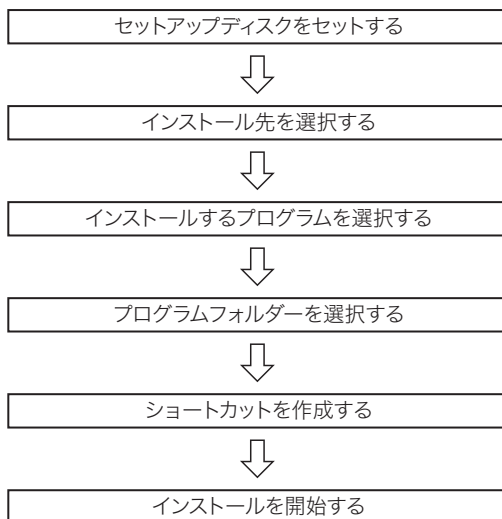
各種アプリケーションソフトで作成した文書を画像ファイル（TIFF ファイル）に変換するドライバーです。

変換された画像ファイルは添付ファイルとして送信することができます。

ユーティリティプログラムをインストールする

プログラムをインストールする為に、Information server +Plus II のパッケージに同梱されている“セットアップディスク” CD を用意してください。

インストールは次のような手順で行います。



補足 ●

- ・ ユーティリティプログラムあるいはドライバーは使用するコンピューターごとにインストールしてください。
- ・ インストールを実行する前に、ウィルスチェックなどの常駐プログラムを終了しておいてください。正常にインストールできない場合があります。
- ・ WindowsNT 4.0、Windows2000、WindowsXP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows 7 にユーティリティプログラムあるいは、プリンタードライバーをインストールする場合、管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンし、インストールを行ってください。
- ・ このインストールの説明で使用する画面は WindowsXP のものです。ご使用のオペレーティングシステムによって表示される画面は若干変わります。
- ・ Windows Server 2008 は Muratec MFX-18/22/27XX および Muratec Is+Plus2 TWAINConnector にのみ対応しています。

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに“セットアップディスク” CDをセットします。
セットアップディスクが起動し、セットアップウィザードが表示されます。

補足

セットアップウィザードが表示されない場合は、CD内の“setup.exe”ファイルをダブルクリックしてください。

＊ Windows 7、Windows Vista および Windows Server 2008 の場合

1. 自動再生の画面が表示された場合は、「Setup.exe の実行」をクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「許可」または「はい」をクリックします。

3 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“使用許諾契約”画面が表示されます。

4 “使用許諾契約”の内容をよく読み、同意する場合は [はい (Y)] ボタンをクリックします。

“インストール先の選択”ダイアログが表示されます。

5 インストール先を変更しない場合は、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“機種の選択”ダイアログが表示されます。



補足

インストール先のフォルダーを変更する場合

他のフォルダーを指定する場合は、あらかじめプログラムをインストールするフォルダーを作成しておく必要があります。

- (1) [参照 (R) ...] ボタンをクリックします。

“フォルダの選択”ダイアログが表示されます。

- (2) インストールするフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

“フォルダの選択”ダイアログが閉じ、“インストール先のフォルダ”の指定フォルダーが変更されています。

6 インストールするプログラムを登録するプログラムフォルダーを指定します。

補足

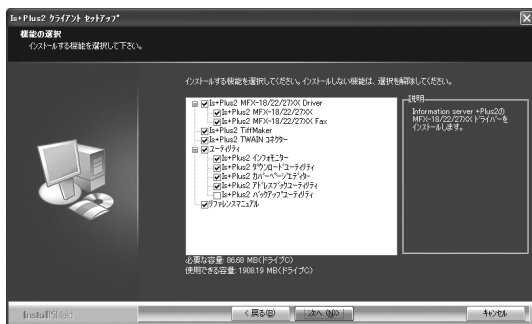
初期設定では、“Is+Plus2” に設定されています。

別のフォルダー名を指定する場合は、“プログラムフォルダ (P):” にフォルダー名を入力します。すでに登録されているプログラムフォルダーを使用する場合は、“既存のフォルダ (X):” リストからフォルダーを選択します。

7 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“ショートカットの作成” ダイアログが表示されます。

8 インストールするプログラムを選択します。



補足

インストールしないプログラムがある場合は、該当するプログラムのチェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

9 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“Is+Plus2 クライアントセットアップ” 画面が表示されます。

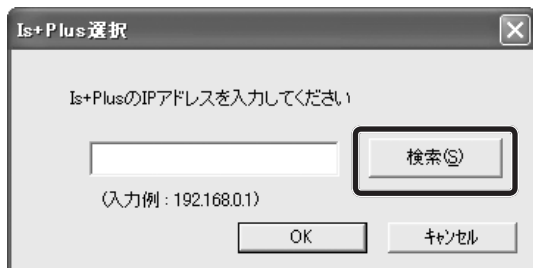
10 [OK] ボタンをクリックします。

“Is+Plus 選択” ダイアログが表示されます。

11 接続するサーバーの IP アドレスを “xxx.xxx.xxx.xxx” (xxx は半角数字) のような形式で入力します。

接続するサーバーを検索して入力する場合

(1) “Is+Plus 選択” ダイアログの [検索] ボタンをクリックします。



サーバーの検索が開始されます。

* Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 または Windows XP の場合

“セキュリティの重要な警告”が表示された場合は、[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] ボタンをクリックします。

しばらくすると、“Is+Plus 選択”ダイアログが表示されます。このダイアログには、ネットワーク上にある Information server +Plus II を搭載したデジタル複合機の IP アドレスがリスト表示されます。



(2) 接続するサーバーを選択します。

“IP アドレス” または “機器名称” をクリックすると、反転表示になります。

(3) [設定] ボタンをクリックします。

“Is+Plus 選択” ダイアログが閉じ、“Is+Plus 選択” ダイアログには選択したサーバーの IP アドレスが表示されています。

12 [OK] ボタンをクリックします。

“プログラム フォルダの選択” ダイアログが表示されます。

13 作成するプログラムのショートカットを選択します。



補足

作成しないショートカットがある場合は、該当するショートカットのチェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

14 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“スタートアップへの登録” ダイアログが表示されます。

15 スタートアップに登録するプログラムを選択します。



補足

スタートアップに登録すると、コンピューターの起動時にプログラムが自動的に起動するようになります。

16 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

“ファイル コピーの開始” ダイアログが表示されます。

17 “ファイル コピーの開始” ダイアログには、これまで設定してきた内容が表示されています。



補足

変更する設定項目がある場合は、[<戻る (B)] ボタンをクリックして該当箇所まで戻り、変更してください。

18 [次へ (N) >] ボタンをクリックします。

インストールを開始します。

19 インストールが完了すると、完了のウィザードが表示されます。

20 “はい、今すぐコンピュータを再起動します。” をクリックし、[完了] ボタンをクリックします。

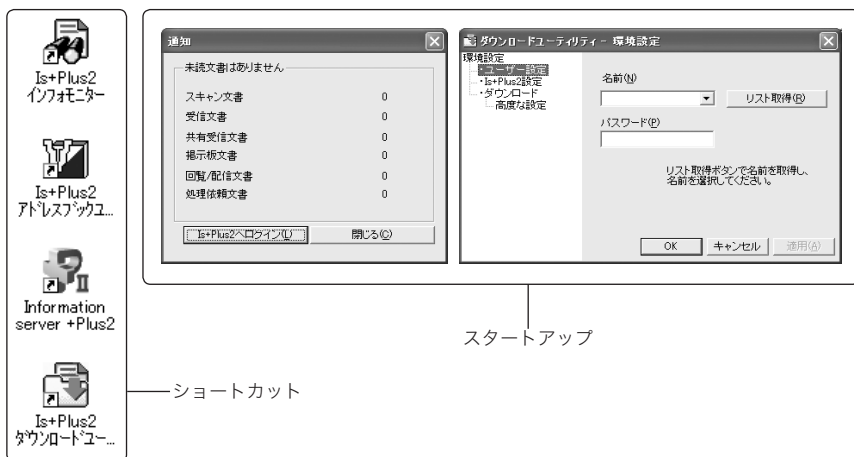
コンピュータが再起動します。

補足

インストール完了後は、コンピュータを再起動しない限り、インストールしたプログラムを使用することができません。

インストール後の確認をする

プログラムが確実にインストールされているかどうか確認します。
再起動直後の画面は次のとおりです。



■ スタートアップ

手順 15 でスタートアップを登録すると、コンピュータの再起動時には、このような画面が自動的に表示されます。

■ ショートカット

手順 13 でショートカットを作成すると、コンピュータの再起動後には、アイコンがデスクトップに作成されます。

また、[スタート] ボタンをクリックして“スタート”メニューを表示させ、プログラムが“スタート”メニューにあるか確認してください。

プログラムを削除する

何らかの理由でプログラムを削除したい場合は、次の操作を行ってください。

補足

この操作を行うと、インストールしたすべてのプログラムが削除されます。
削除するプログラムは選択できません。

- 1** [スタート] ボタンから “コントロールパネル (C)” を選択します。
“コントロールパネル” 画面が表示されます。
- 2** “プログラムの追加と削除” をダブルクリックします。
Windows 7または Windows Vista の場合は、“プログラムのアンインストール” をクリックします。Windows Server 2008 の場合は、“プログラムと機能” をクリックします。
- 3** “Is+Plus2” をクリックします。
- 4** “Is+Plus2” の [削除] (または [変更と削除]) ボタンをクリックします。
Windows 7、Windows Vista または Windows Server 2008 の場合は、“アンインストール” をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、パスワードを入力し、「OK」をクリックします。(標準ユーザーの場合)
管理者の場合は、「継続」をクリックします。
- 5** 削除をクリックします。
“ファイル削除の確認” 画面が表示されます。
- 6** [OK] ボタンをクリックします。
プログラムの削除を開始します。
- 7** “メンテナンスの完了” ダイアログが表示されたらプログラムの削除は完了です。
インストール後の動作を以下から選択します。
 - ・ “はい、今すぐコンピュータを再起動します。” を選択すると、コンピュータをすぐに再起動します。
 - ・ “いいえ、後でコンピュータを再起動します。” を選択すると、コンピュータを再起動させずにそのまま使用できます。
- 8** [完了] ボタンをクリックします。
手順7で選択した動作を実行します。
デスクトップからはショートカットが削除され、“スタート” メニューからは “Is+Plus2” が削除されています。